

2009年度

科目名	日本文学講読 I		
担当教員	足立 匡敏		
配当	日文1(2112)	コード	12140
開期	前期	講時	月曜日2限
		単位数	2
授業テーマ	上代日本文学入門		
目的と概要	日本上代文学の基本文献である『萬葉集』の精読を行う。萬葉集が、その後どのように読まれていくのかを視野に入れながら日本文学における『萬葉集』の意義、また、『萬葉集』を読むとはどういうことかについて考える。		
成績評価法	毎回の講義時に課す小レポートへの取り組み方(60%)、小レポートの提出状況(40%)		
テキスト	佐竹昭広他『補訂版 萬葉集 本文編』(塙書房)		
参考書	授業中に紹介する。		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
<p>『萬葉集』は、日本の和歌の歴史において、新風を切り拓く起爆剤としての役割を担った歌集である。萬葉歌人は、どんな思いを込めて歌をつくり、後の人々はこの歌集をどのように読んだのか、――そのことを考えながら『萬葉集』を読みといてゆきたい。</p> <p>基本的には講義形式とし、萬葉集を原文のまま読み解くための方法や基礎知識を解説する。代表的な萬葉歌を取り上げながら、そこに用いられた用語、修辞、発想などを考察し、和歌の歴史における萬葉歌とはどのようなものかを考える。</p> <p>【第1回】萬葉集概説(1) 【第2回】萬葉集概説(2) 【第3回】萬葉集概説(3) 【第4回】初期萬葉の作品(1) 【第5回】初期萬葉の作品(2) 【第6回】初期萬葉の作品(3) 【第7回】盛期萬葉の作品(1) 【第8回】盛期萬葉の作品(2) 【第9回】盛期萬葉の作品(3) 【第10回】晩期萬葉の作品(1) 【第11回】晩期萬葉の作品(2) 【第12回】晩期萬葉の作品(3) 【第13回】萬葉集はいかに読まれたか(1) 【第14回】萬葉集はいかに読まれたか(2) 【第15回】まとめ・復習</p>			